うちゅうせん通信

広報係　2017年12月16日(土)発行　第8号

☆2017年度1~3月期例会予定 ☆　　毎回土曜日、14時開始

1月 20日　 2月17日　※3月10日

場所は仙台市天文台(2階・学習室)
※会場:市内(ｻﾎﾟｾﾝ15時より)

☆　仙台市天文ボランティア会報　☆

星空　◎:好天　　△:僅かに観望　　×:不可　　●:屋内のみ(中止のものは記載していません)

	実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影	ｽﾀｯﾌ数	天候	主な内容
★	9. 3(日)	えぼしスキー場	10名	19:00	20:30	◎	有	2名	晴	数多くの星が見られたが、風強く秋を感じる
★	9. 9(日)	えぼしスキー場	46名	19:00	20:30	◎	有	2名	晴	9月になってから好天が続き望遠鏡が活躍している
☆	9. 16(土)	えぼしスキー場	6名	19:00	20:30	×	有	2名	曇	天候回復せず終始室内での実施のみ
■	9. 23(土)	例会(第6回)	－	14:00	15:50	－	－	8名	－	10月の観望会担当者調整、忘年会予定の決定
★	9. 23(土)	えぼしスキー場	14名	19:00	20:30	◎	有	2名	曇	ペルセウス座流星群が5～6個飛んだ満天の星空
★	9. 24(日)	えぼしスキー場	4名	19:00	20:30	◎	無	1名	晴	少人数ながら好天で満足度の高い観望会
★	9. 30(土)	えぼしスキー場	8名	19:00	20:00	◎	有	2名	晴	曇天から晴天に時間が経つにつれ良い条件に
★	10. 1(日)	えぼしスキー場	7名	19:00	20:30	△	有	2名	曇	おぼろ月と星は見えたものの、悪条件での観望会
★	10. 7(土)	えぼしスキー場	6名	19:00	20:30	△	有	2名	曇	蔵王町ございんホールの星の絵画展からのお客様が参加
★	10. 8(月)	えぼしスキー場	130名	19:00	20:30	◎	有	3名	晴	まぶしい月と照らし出された雲海が圧巻の観望
☆	10. 9(火)	えぼしスキー場	19名	19:00	20:30	×	有	2名	晴	オール曇天バージョンで「流星群」の解説ビデオを見て頂いた
★	10. 13(金)	白石市深谷小学校	52名	18:30	20:00	△	有	3名	曇	土星が見せられず曇天フルバージョンの観望会となりました。
★	10. 14(土)	えぼしスキー場	6名	19:00	20:30	◎	有	2名	晴	曇天で開始空いたが徐々に回復し、流れ星も！
■	10.21(土)	例会(第7回)	－	14:00	15:30	－	－	5名	－	11月の観望会担当者決定、うちゅうせん通信の発行ほか
☆	10.21(土)	えぼしスキー場	10名	19:00	20:30	×	有	2名	曇	ゴンドラ上駅から会場までの行き来とも小雨の傘持参観望会でした
★	11.3(金)	えぼしスキー場	60名	19:00	20:30	◎	有	2名	晴	満月の中で賑やかに行われた観望会
★	11.4(土)	えぼしスキー場	24名	19:00	20:30	△	有	2名	曇	雪が舞う中、寒さに震えた今年最後のえぼし観望会
■	11.18(土)	例会(第8回)	－	14:00	15:40	－	－	6名	－	今年の観望会の振り返り、12月例会の予定ほか

☆彡　観望会のようす

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年 9月 9日(土)・報告　大石　】

事前メールでは24名参加ということでしたが、えぼし到着時46名参加となっていましたが、なかなか会場に参加者が到着しないと思ったらロックガーデンを見てから来られると言うことでした。最初室内での「秋の星空」を説明した後早速外に出てもらいました。

まず，夏の星座や北極星の見つけ方を説明した後、望遠鏡で色々と見てもらいました。月の出が遅いので天の川も綺麗に見えて喜んでいました。望遠鏡では，土星　ミザール　アルビレオなど見てもらいましたが、星空を眺めて楽しんでいる方が多かったようでした。

アルビレオ，天頂で入れるのに一苦労，見られる方も一苦労(笑)。。。でもきれいですよね。月が出てきたので望遠鏡で何とか見てもらうことができました。天の川、土星、月と豪華なラインナップの観望会になりました。

☆　えぼしリゾート・観望会 【 2017年 9月16日(土)・報告　西口　】

星は見えそうもない天候でしたが、せっかく来たのでゴンドラだけでも乗りたいという2組6名での実施となりました。挨拶の後「秋の星空」「オリオンとさそり」「天文クイズ」をして、写真を選んでもらい少し早めにお開きとなりました。ゴンドラで上がったときには、初めは夜景がきれいに見えていましたが、途中から霧が濃くなって上では濃霧。終わった頃はすっかり雨。帰りに「鐘を鳴らしていく!」と言って張り切っていた年長と年少の姉妹がとてもかわいかったです。。

★　えぼしリゾート・観望会【　2017年 9月23日(土)・報告　永井　】

中止かも？と思うお天気で、やや早目にゴンドラで昇り、室内外の準備をしてましたが、空全体が雲に覆われ時折星が見られるだけでしたから先行きが心配されました。 到着順に天体写真を選んでもらって全員が揃うまでにしばし時間を要しました。

挨拶、星の説明をした後で雲だらけの外へ・・・　目が慣れていない事も有り、星は見られません。星を探しているうちにあちこちの雲が隙間を開け始め、夏の大三角も見えだしましたが、三つ揃う状態はほとんど無しでしたが。

その状態が続きましたが、終了間近になってかなり広く星が見える様になり、アンドロメダ銀河を見てもらう事が出来ました。

星が見えない時間帯には質問を促して回答するやり方をしました。3人から質問が有りましたが雲だらけの時の一つの方法かも知れませんね。望遠鏡で見てもらうつもりになっても、ほんの短時間しか見られない事もあり、いろいろチャレンジしました。

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年 9月24日(日)・報告：永井】

お客さんは2組　多賀城の女性の方は広島からのお友達とご一緒。 もう一組は地元のご夫婦で、函館から来ているお孫さんと一緒に参加されました。広島からの女性は「仙台に来るANAの機内誌で、えぼしの空中散歩de星空さんぽの体験談を見てお釜を見たついでに参加した」と言っておられました。

星が見られそう・という事で、プロジェクターでの説明はせず、今から見られる星空を説明し室外へ。目が暗闇に慣れていない事も有り、確認出来なかった星が時間とともに見え出します。 正直に言うと雲は少ないものの、湿気が多く空が白っぽく見えるので、最上の星空とは言い難かったんですが、天の川が確認出来ると歓声があがっていました。

湿気のためレーザーポインターの光のラインもくっきりはっきり・それを使って星座や星の説明をしました。皆さん☆好きの方ばかりでしたが、天の川は初体験のようで満足度は高かった様子。また、望遠鏡ではアンドロメダ銀河を堪能。

あっという間に終了・と言った感じで、帰り際に質問は有りませんか？と言ったら、立ち止まっての質問コーナーとなりました。

昨日とは打って変わっての晴天という事も有り、少人数では有りましたが充実した星見になりました。。

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年 9月30日(土)・報告：渡辺】

秋分も過ぎ、えぼしに向かう途中で日没を迎え真っ暗になってから、観望会が始まる時期となりました。

えぼしリゾートに着いたところ雨上がりで、西側の蔵王山は黒い雲に覆われちょっと不安になりました。

参加された8名は仙台市等の日帰りの方でした。これ以上天気が悪くなってはと心配し、先に望遠鏡で月齢10の月を見ていただくことにしました。時間が経つにつれ雲が無くなり晴れ上がりました。空を見上げている中、突然ロープウェイの照明が消えた瞬間、一斉に星空が広がり歓声が沸きました。その後、屋外で星の説明をしている時に、人工衛星が見えたり、望遠鏡でアンドロメダ星雲を見てもらってから室内に入りました。

プロジェクターで秋の星空の説明、星座物語「鎖につながれたお姫様」を説明しながら外で冷えた体を温める時間をとりました。

再度外に出てもらうと雲一つない好天で、思い思いにシートに横たわって星を見たり、仙台市方面の夜景を楽しんでいただきました。望遠鏡ではアルビレオの色の違いがはっきり分かり、とても良い環境で観望できました。

気温が低いため、また中に入っていただき十五夜が近いので月のスライドを見てもらい、20時20分に終了しました。

最初心配していただけに、良い天気となり、満足感を感じてもらうことができた観望会となりました。

☆彡　観望会のようす

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年10月 1日(日)・報告：大石】

　到着時には、おぼろ月で星はほとんど見られない状態でした。参加者に星がほとんど見られないことを確認してもらい、判断をゆだねました。参加希望の方が決まり、ゴンドラに乗車することになったため急遽石子ゲレンデに向かいました。

　室内に入る前に、望遠鏡で月を見てもらいました。結構クレーターがクリアに見えていました。

プロジェクターで、秋の星の説明を行ってから、外に出てもらいました。かろうじて夏の大三角が見え説明しました。

　カシオペアから北極星（かすんで見えていましたが強制的に）を見てもらいました。またアルビレオを望遠鏡に入れ、きれいな二重星を見てもらってから、室内に戻りました。室内で星座物語「鎖につながれたおひめさま」を鑑賞し、秋の星座に親しんでもらい、ほぼ時間になりました。

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年10月 7日(土)・報告：伊川】

　小雨・濃霧の為次々とキャンセルとなりました。そんな中、蔵王町ございんホールで行われている、加川広重さん「星を巡る、絵画への旅」の参加者4名がマイクロバスで到着しました。

その内のおひとりは山形から広重さんの絵を見に来られたと言うことでした。そして、富谷市からいらした1組のカップル合計6名で空中さんぽ実施となりました。

　あいさつ後「秋の星空」「くさりでつながれたおひめさま」「ほしのせんにん」などのお話しなどを聞いて頂いているうちに、あきらめていた月が雲の切れ間から見えるということで、望遠鏡1台と双眼鏡で立待月を見て頂きました。

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年10月 8日(日)・報告：近藤】

　午後から広がってきた雲がだんだん濃くなってきてゴンドラで上を目指すときは窓の外は徐々に白くかすみ･･･

「厳しいかなぁ」「まぁ，月はいけるんじゃない？」

なんて会話をかわしていました。･･･ところが！　「わお！雲抜けしてる！！」

　参加者が多くホールに揃うだけでも30分近くかかってしまうので，開始前に写真を選んでいただきました。

　挨拶の後はすぐ外に出ていただき，月が昇る前に星空を堪能していただきました。

目をこらすとうすく天の川、流れ星・数個（りゅう座流星群？）、望遠鏡ではアルビレオ等、やがて月が出てその後は月に文句を言いつつ「まぶしいねぇ」と月を観ていただきました。

実は，個人的には月光に照らし出された『雲海』が圧巻でした。えぼし観望会で夜の雲海を観たのは初めてでした。

そんな話も交えながら130人余のお客さまにも笑顔で下山していただきました。

★　えぼしリゾート・観望会 【 2017年10月 9日(月)・報告：中村】

　仙台出発時は多少晴れ間も見えていましたが、えぼしに着くと曇り。ゴンドラで上に行っても星は見えません。

参加者がそろってから、大石さんの「10月の星座案内」で始まり、外は晴れそうもなく時間がとれたのでので、追加として「流星群」の解説ビデオを見てもらいました。解説が終わり、外は晴れそうもないので一部の人にはベランダから夜景を見てもらいました。このころには外は小雨が降ってきました。終わりに各自おみやげの写真を選んで持ち帰ってもらい下山しました。

★　白石・深谷小子供会観望会 【 2017年10月13日(金)・報告：永井】

　外の具合を見ながら望遠鏡のセットをしていたら、夏の大三角と西空の雲の合間に土星が見えましたのでブレークして、土星だけでも見てもらおうと全員に外へ出てもらったんですが･･･　土星は雲に隠れてしまいました。

　望遠鏡で遠くの明かりを見て貰いながら、レーザービームで見え隠れする夏の大三角を説明しました。明かりを見るのに飽きた子が、望遠鏡を操作しベガを見ていましたが中々大したものでは有りませんか。

　どんどん雲が多くなって来たのを見計らって、再び室内へ入ってもらい、今月の星空の続き・その後「鎖につながれたお姫様」その後はご父兄も巻き込んでの「星座ビンゴ」で盛り上がりました。ビンゴの商品は天体写真で10名に、終了後の参加賞も天体写真でしたが、思いのほか好評でした。

　最後の質問コーナーでも質問が4人から出てこれまた盛り上がりました。終了後は子供達が全員起立し、代表者の号令で大きい声で「有難うございました」をいただきました。

―以降は次号に掲載します―

編集後記

♠星空散歩まとめ　今年のえぼしリゾートの星空散歩は当初予定の半数以上が中止となるという散々な一年でした。また、実施しても全く星が見えない日もあったり、一転して星空が見れて感動するなど、気ままな自然に振り回されながら、一緒に楽しむと思えば今年の取り組みも成功とは言えるのではないでしょうか。えぼしリゾートでも、ガーデンや遊具、足湯ならぬ足水を新設するなどその場所に行くだけでも、満足感を得られるような進化を続けていますので、お客様にも理解いただけているのではないでしょうか。いずれにしても来年は好天が多いことを願うばかりです。（辺）

♥米横断日食ツアー　日食の素晴らしい映像はネットで観ていただくのが1番、感動を再現するような日食レポートは荷が重い（あの感動を文字にすることはできそうにありません）ので「アメリカの日食は？」を紹介します。

　私たちが狙っていたのはイエローストーン国立公園の入口Jacksonでしたが、早々とみな満室。Jacksonには日食の3日前に観光で入りました。すてきな観光都市なのですがあちらもこちらもこのどこかシュールなポスターでいっぱいでした。よく見ると20世紀初めにニューヨークで生まれたような色使いでアメリカ西部の日食を表現されています。（はじめはわからなかった！）日本だったらコロナの写真か何かを使うところですよね。このポスターが空港でもトイレでも、もちろんホテルにも貼りまくられていました。

　ホテルでは、アメニティグッズに必ず入っていたのが日食の情報誌(？)と日食グラス。いかにもアメリカ!5枚たまりました。

　旅に出たらやはりお土産ははずせません。そこでつい手を出してしまったのがこの石鹸です。「くま」はワイオミング州のアイドルです。州木、州花、州の動物って感じ？。しっかり日食グラスを掛けています。21日を過ぎたら半額になってました。同じ盛り上がりでも日本のどこか違う楽しみ方だなぁという感じがしました。

　結局私たちはRivertonを南下しワイオミング片田舎，牛が放牧されている荒野の片隅で日食を観たのですが、同じようにそのガラガラヘビが出そうな荒れ地で日食を観た現地のみなさんもコロナ出現や第3接触の時には我々と変わらぬ歓声をあげました。日食で味わう感動は万国共通なんだなぁと･･･

そのことも大きな感動でした。（百）